

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く 手をつなぎ
のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



順調なスタートができました！

“人は生まれてから10年したら「幼」といい、学問を始める。20年したら「弱」といい、冠を付ける。30年したら…”これは「礼記」に記された記述で「弱冠」とはここからきた言葉です。1月12日は成人の日で、今では冠を付けることはありませんが、成人を迎えるということは、責任や自負という見えない冠をうけとることなのかもしれません。

さて、3学期はたいへん順調なスタートができました。欠席もほとんどなく、新学期を元気に迎えられたのは冬休み中きまりをしっかりと守って生活できたこと、健康に注意して過ごせた結果です。各家庭でのご指導ありがとうございました。

始業式では…

始業式の日、冷え込む朝で、明けきらない薄暗い中、地域やPTAの方に見守られながら、安全に登校できました。見守りありがとうございました。準備ができた子どもたちは早速友達と運動場で遊んでいました。早く学校で友達と遊びたかったのですね。教室で朝の会をした後体育館に集まり、始業式のスタートです。始業式では、「午年は、活気や情熱という意味をもちます。これまでの努力の成果が出る時である。3学期は、自律・協働・創造の3つ目のキーワード、創造をめざしてがんばろう」という話をしました。ひとつのことをやり抜いたときに、これまでに感じたことのない達成感や新しいものの見方や考え方に気づけるはずです。真剣に話を聞いていた子どもたちでした。

始業式では4年生の代表児童が3学期にがんばりたいことを発表しました。2人とも冬休み中に発表の練習をしたようで、たいへん立派な発表ができました。2学期の反省をうけて、学習や生活面で頑張りたいことがよくわかりました。

校歌を全校で元気よく歌い、始業式を終えました。始業式の後は、生活指導担当から3学期の生活について話をしました。2学期達成できなかったあすなろ運動について、特に、トイレのスリッパ並べと静かな廊下歩行を目指すこと、2学期に多かった喧嘩を少なくし、相手の良さを認め合うことの2つ、特に力を入れていくことを伝えました。



教室では…

長期のお休みが明けた初日をどう迎えるかはたいへん難しいところです。子どもたちにできるだけ早く学校生活のリズムを取り戻させなければなりません、あまり言いすぎると子どもたちのモチベーションも下がってしまいます。子どもたちが前向きな気持ちをもって学校生活にのぞめるように、北小の先生方はいろいろと工夫をされていました。



黒板にひと工夫！

子どもたちを迎える黒板には、先生からメッセージが書かれています。楽しい絵やどんな3学期にしていくのか担任の先生の思いが込められています。

3学期のめあてにひと工夫！

カラフルに色を付けられるようにしたり、掲示しておける書式にしたり、目当てカードに気持ちを高める工夫がありました。

楽しさをひと工夫！

冬休みにしたことをビンゴカードにしてビンゴゲームをしたり、新年らしくおみくじをしたり「学校では楽しいことがある」と感じさせる工夫をされていました。(私がひいたのは大大大吉でした。“落ちていごみを拾うとハッピーでしょう”でした。)

